

地域社会、環境に配慮したアブラヤシ生産のための取り組みが始まっている。しかし、現場ではまだ機能していない状況にある。

## V. おわりに

パセール県の調査によってアブラヤシの経済的優位性やアブラヤシ・アグロフォレストリーの新たな可能性が明らかになった。しかし、市場のリスク管理、監視体制が十分に整っていない状態で進められている現行の大規模アブラヤシ農園開発計画は東カリマンタンの地域住民の生活を大いに危険にさらすものであると考えられる<sup>9</sup>。

〔引用文献〕 1) 岡本幸江編 (2002) ブックレット JANNI『アブラヤシ・プランテーション 開発の影インドネシアとマレーシアで何が起きているか』, 日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI): 49 頁 2) 河合真之・井上 真 (2010) 大規模アブラヤシ農園開発に代わる「緩やかな産業化」の可能性: 東カリマンタン州マハカム川中上流域を事例として, 林業経済 63 (7): 1-17 3) 寺内大左 (2010a) ポルネオ焼畑民の生業戦略 ラタンからゴムへ, そしてアブラヤシへ?, 三俣 学, 菅

豊, 井上真編者『ローカル・コモنزの可能性』ミネルヴァ書房, 89-114 頁 4) 寺内大左 (2010b) 大規模アブラヤシ農園開発にゆれる村人の思い, 『Local Commons』第 13 号, 科学研究費補助金・特定領域研究「持続可能な発展の重層的環境ガバナンス」‘グローバル時代のローカル・コモنزの管理 (A03)’, Local Commons 編集事務局 5) Dinas Kehutanan (DK) (2008a) PEMERINTAH PROVINSI KALIMANTAN TIMUR DINAS KEHUTANAN DALAM ANGKA TAHUN 2008, 東カリマンタン州林業局資料. 6) Dinas Kehutanan (DK) (2008b) DINAS KEHUTANAN KUTAI BARAT DALAM ANGKA 2008, 東カリマンタン州西クタイ県林業局資料 7) Dinas Pertanian (DP) (2009a) REKAPITULASI DATA KESESUAIAN PERIZINAN PERUSAHAAN PERKEBUNAN DAN AKTIFITAS LAPANGAN POSISI S/D OKTOBER 2009, 東カリマンタン州農園局資料. 8) Dinas Pertanian (DP) (2009b) RINGKASAN EKSEKUTIF DATA PERKEMBANGAN KEGIATAN PERUSAHAAN PERKEBUNAN (PBS) KUTAI BARAT S.D. BULAN JULI 2009, 東カリマンタン州西クタイ県農園局資料 9) 田中良平 (2010) 木質資源としてのオイルパーム: 現状と利用開発, 海外の森林と林業 79: 41-46

## 図書紹介

### 森林サイエンス 2

信州大学農学部森林科学研究会編, 小池正雄監修, 川辺書林, 2011, 325PP. ¥1905+税, ISBN970-4-906529-67-4

本書は 2003 年に発行された「森林サイエンス」の続編である。特にこの間に森林と人間を取り巻く関係が大きく変化してきて、森林問題のグローバル化、産業構造の変化、間伐遅れ問題、獣害の急増、地球温暖化対策などが顕在化してきた。これを機会に新たに 21 項目について、最近の研究成果を取り入れて解説している。

本書の大部分は、日本国内森林、林業問題を論じ

ているが、本誌読者に直接的に関係する分野としては、「地球温暖化問題と森林のかかわり」, 「世界木材市場問題と 21 世紀型森林管理方式」, 「森と共存するブータンの山業利用」, (REDD の基礎技術となる) 「森を測る」などがある。その他途上国の森林再生と住民生活向上に参考となる, 「ウシとシカによる地域振興を兼ねた獣害対策」, 「持続可能な森林経営の基本的視点と漸伐作業」, 「森林の土砂災害抑制機能」, 「特用林産と山村振興」などが含まれている。

海外における民間植林や森林を通じた農村開発に携わる方々や関心が深い方々及び海外青年協力隊員や海外での森林関係の仕事を志望される学生さんにとって、貴重な基礎情報を提供する 1 冊であると思います。(森 徳典)